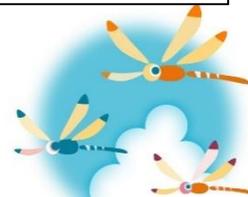




# 寄宿舎便り

令和3年9月3日発行  
第7号  
文責 甲斐

## 夏休み、いかがお過ごしでしたか？



長い夏休みが明け、2学期がスタートしました。みなさん、夏バテ等大丈夫でしょうか？夏休み中はオリンピック・パラリンピックが開催され、選手達の活躍に胸が熱くなりました。特にパラリンピックでは本校から平井先生が柔道男子60キロ級で出場されました。あの大舞台に立つまでの努力もさることながら、どんなに体力を消耗していても、最後の最後まで諦めず技を掛け続ける姿に、大きな感動と勇気をもらいました。舎生の皆さんも、きっと平井先生をはじめ多くの選手の皆さんの姿を通して、パワーをもらったのではないのでしょうか。平井先生本当にお疲れ様でした。そして、私たちに夢や希望を与えていただきありがとうございました！！

さて、今回のお便りも、オリンピック・パラリンピックに負けない！？熱い内容を紹介します！

## 第1回寄宿舎ビンゴ大会を開催しました！

7月15日(木)の夕食後に、『コロナ禍でも楽しいことがしたい！1学期は制限のある中よく頑張った☆最後はみんなで思いっきり楽しもう♪』というスローガンの下、双葉会会長と副会長がビンゴ大会を企画し、実施しました。

ビンゴ大会を開催するにあたり、役員2人の最大の悩みは、ビンゴにはかせない賞品をどうするかでした。そこで2人は、『先生方にスポンサーになってもらい、家庭にある未活用品や中古品の中で、舎生が喜ぶものや、寄宿舎生活で使えるものを持ってきてもらおう！』というスポンサー制の導入に挑戦することにしました。

最初に、スポンサーを獲得するためには何が必要かを考え、先生方へ役員のビンゴ大会への熱い想いをプレゼンし、賛同を得られたらスポンサーになってもらおう！ということになりました。

二人のビンゴ大会へ懸ける意欲がビシビシ伝わってきましたので、私たち舎職員も全面協力のもと、まずは、校長先生へ役員2人でビンゴ開催の想いと、スポンサー制導入への許可をいただくため、青年の主張ならぬ、双葉会役員の主張(プレゼン)を行うことにしました。主張は見事に成功し、校長先生からのアドバイスもあり、学部の先生方を含め全職員へスポンサー依頼をすることになりました。

そこで、学部の先生方には、学校朝会で村上先生から主旨説明をしてもらい、スポンサー協力の依頼をしました。舎監と舎職員へは役員が直接プレゼンを行いました。期間限定で賞品回収を行ったので、最初は集まるか心配していましたが、次々届く賞品にビックリ！2人の熱い想いが本当にたくさんの先生方へ伝わった結果、ものすごい数の賞品を集めることができました。

ここからは、当日の舎生皆さんの様子を写真と共にご紹介しますね♪



# ビンゴ大会の様子



男子棟・女子棟  
職員コンビ♪  
『マイクパフォーマーで実況中継！盛り上げ係はお任せあれ』



双葉会役員の2人。  
『みんなでビンゴ大会を楽しみましょう☆』



ビンゴは魯内放送を使い、魯生さんは各自室で参加されました。周りの状況は、マイクパフォーマーの職員が伝えてくれました。



当日魯監だった先生も一緒に参加されました。



縦、横、ななめのどこかのマスが4つ揃ってあげば『リーチ!』、5つあげば『ビンゴ!』になります。なかなかリーチにならなくて、ヤキモキする畚生さんもいれば、リーチはいくつもあるのに、なかなかビンゴにならない畚生さんもいて、みんな夢中でゲームを楽しみました。

『欲しかった賞品が当たって、うれしー!!!』

「ビンゴ!」になったら、くじ引きして賞品をもらおうよ。『どんな賞品があたるかドキドキ』

『イヤホン get!!! やったー!!!』

**BINGO**

『たくさんの先生方が賞品を提供してくださったので、畚生みんな大喜びでした♪また、2学期も楽しい企画を考えて行きます!』

## 人権職員研修を行いました

7月26日(月)に「命や人権、人格を大切にする」をテーマにした、職員人権研修を行いました。寮務主任から、1学期末に生徒から学んだ「ビンゴ大会が楽しかった」「ソーシャルディスタンスを意識するようになった。」などの声を基に、職員としての関わり方やあるべき姿について講話があり、職員一同自己の職責を再び自覚し人権教育についての認識を深めた時間となりました。

## 熊本県寄宿舍教育研修会がありました

8月3日(火)、熊本県寄宿舍教育研修会が行われました。寄宿舍教育研修会は、県内にある寄宿舍5校の指導員が全員参加して、年に1回行われている研修です。今年は、リスクレベル5に伴い、オンラインでの開催となりました。

研修会では、教育庁の先生方より2本の講話があり、1つ目の講話では、子どもへの理解を深めること、みんなで共通理解すること、自分自身を知ることが大切だと改めて感じました。2つ目の講話では、他人や他の組織で起きた問題やトラブル、あるいは災害を知っても、「そんなことは自分には起きない、自分には関係ない」と考えるのではなく、他者意識を持ち、自分の傾向を把握し対策を考えることが重要だと学びました。

また、5校でコロナ禍の児童生徒の生活と寄宿舍の役割について情報交換を行い、とても有意義な時間となりました。

今回の研修で学んだことを、2学期からの支援に活かしていきたいと思います。



### 9月行事

1日(木) 誕生者紹介  
13日(月)～ 十五夜飾り作り  
21日(火) 十五夜

## お願い

新型コロナウイルス感染症予防対策に対して国のまん延防止措置が熊本にも発信され、感染力の強い変異ウイルスの流行というとても厳しい社会状況になっております。2学期からの寄宿舍生活におきましても、舎生、保護者の皆様に安心、安全に送れるよう、寄宿舍内の環境衛生、職員の健康状態の管理徹底をし「感染しない、感染させない」という取り組みを継続していきます。つきましては、以下の3点について、ご家庭でもご協力いただきたいことがありますので、何卒よろしくお願いいたします。

- ①外出ができませんので、必要な物品については週末の帰省時に買い揃えをお願いいたします。
- ②帰舎時には、家庭での検温、健康観察をお願いします。ご本人、ご家族に体調不良があれば自宅静養をお願いいたします。
- ③定期的な検温を行いますので、接触型体温計をご準備をお願いいたします。



このようなお願いばかりで大変心苦しい思いではありますが、細心の注意を払いながら、職員一丸となって感染症対策を強化して参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。